

第70回日本細胞生物学会・第51回日本発生生物学会・アジア太平洋発生生物学会ネットワーク (APDBN) 国際合同大会 NBRPワークショップ・パネル展示

NBRPワークショップ「バイオリソースが拓く発生学・細胞生物学」

日時：2018年6月5日（火）16:00-18:00

会場：タワーホール船堀 Room E

NBRP推進委員である城石先生が世話人となり、「バイオリソースが拓く発生学・細胞生物学」というタイトルでワークショップを開催し、4題の講演が行われた。

講演者は、細胞学と発生学に使用する主なリソースとして選んだ、ヒト・動物細胞、ショウジョウバエ、ゼブラフィッシュ、ニワトリ・ウズラを用いた最新の研究成果を発表した研究者である。4演題ともに各リソースの特徴を有効に利活用し、大きな研究成果を挙げた成功例である。同時に、講演者による熱心なNBRPの研究成果への貢献と具体的なリソース提供方法についての説明があり、大変有意義かつ効果的な広報になった。熱心な参加者との質疑応答も多々あり、大会0日目（本大会は翌日から）での開催ではあったが参加者数は約60名でワークショップは盛況に終わった。ブース展示による受動的な広報に対し、ワークショップやシンポジウム開催でのNBRP利活用による研究成果の講演は、研究者への利用意欲を掻き立てる積極的な広報活動であると感じ、今後の広報活動に多く取り入れていく必要があると考えられた。

○NBRPワークショップ用チラシ



日時 2018年6月5日(火)16:00~18:00 会場 タワーホール船堀 2F Room E

座長：城石 俊彦 (国立遺伝学研究所 副所長・NBRP推進委員)

16:00 ヒト・動物細胞
「配偶子由来DNAメチル化を維持した高品質なES細胞の樹立」
山田 泰広 東京大学・医科学研究所・システム疾患モデルセンター

16:30 ショウジョウバエ
「生殖幹細胞の増殖を制御する器官間シグナル：ショウジョウバエを用いた研究から」
丹羽 隆介 筑波大学・生命環境系・動物発生・生理学分野

17:00 ゼブラフィッシュ
「ゼブラフィッシュ可視化解析により見えてきた、発生ロバトネスを支える細胞競合を介したシグナル補正機構」
石谷 太 群馬大学・生体調節研究所・病態制御部門・個体制御システム分野

17:30 ニワトリ・ウズラ
「四肢動物における後肢の位置の多様性を生み出す発生メカニズムの解明」
鈴木 幸華 名古屋大学大学院・生命医学研究科・鳥類バイオサイエンス研究センター

NBRP AMED 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 Japan Agency for Medical Research and Development NHG

講演会場入り口



講演会場内



パネル展示

会場：タワーホール船堀 Poster Room 1 ブースNo. 44, 45, 46

日時：2018年6月6日（水）9:00-17:00

6月7日（木）9:00-17:00

6月8日（金）9:00-16:00

大会参加者は約1350人であった。パネル展示では、3日間で約30人の訪問者があった。既に使用者である研究者が多かった。また、出展している企業の担当者も多く訪問いただいた。NBRPの活動について、企業の方は全員聞いたことがないとのことだったので、今後企業様のユーザーや企業様自身でご利用いただけるよう説明をし、パンフレットをお渡しした。

○NBRPパネル展示用チラシ

第70回日本細胞生物学会・第51回日本発生生物学会 合同大会
ナショナルバイオリソースプロジェクト
National BioResource Project (NBRP)

パネル展示
「細胞生物学・発生生物学を支えるバイオリソース」

日時：2018年6月6日(水)～6月8日(金)
会場：タワーホール船堀 1F Poster Room 1 ブースNo 44, 45, 46



NBRP「情報センター」 NBRP「ショウジョウバエ」
NBRP「ゼブラフィッシュ」 NBRP「メダカ」
NBRP「ネッタイツメガエル」 NBRP「ニワトリ・ウズラ」

バイオリソース(及び情報)の利用、寄託に関するご相談
など、展示会場でお待ちしております。

NBRP AMED 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development NHG

